

# 文-36 あとで

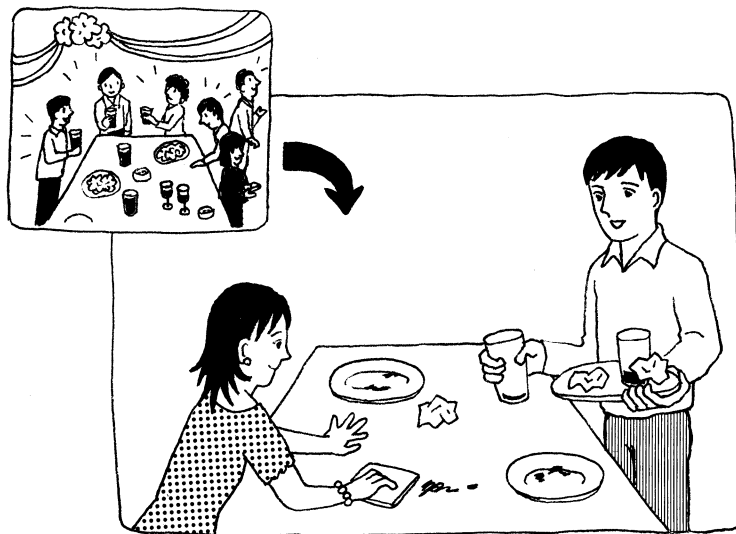
N1が	V1た	あとで	N2	は/が	V2ます
N3	の				

N3: 動作と結びつく名詞やできごとを表す名詞

## 基本

### 例文

- ① わたしはアルバイトが<sup>お</sup>終わったあとで、映画を見<sup>えいが み い</sup>に行きます。
- ② パーティーが<sup>お</sup>終わったあとで、わたしたちは部屋<sup>へや</sup>をかたづけました。



例文②

- ③ 教科書<sup>きょうかしょ</sup>を読<sup>よ</sup>んだあとで、生徒<sup>せいと</sup>は答<sup>こた</sup>えを書<sup>か</sup>きました。
- ④ 中山<sup>なかやま</sup>さんが質<sup>しつもん</sup>問<sup>もん</sup>したあとで、田中<sup>たなか</sup>さんが同<sup>おな</sup>じ質<sup>しつもん</sup>問<sup>もん</sup>をしました。
- ⑤ A: いつ昼<sup>ひる</sup>ごはん<sup>た</sup>を食べ<sup>た</sup>ますか。  
B: 博物<sup>はくぶつかん</sup>館<sup>かん</sup>を見<sup>み</sup>たあとで、食<sup>た</sup>べましょう。
- ⑥ A: チェック<sup>ち</sup>イン<sup>いん</sup>したあとで、出<sup>で</sup>かけてもい<sup>い</sup>いですか。  
B: いいですよ。
- ⑦ 授<sup>じゅぎょう</sup>業<sup>ぎょう</sup>のあとで、掃<sup>そう</sup>除<sup>じ</sup>をしまし<sup>す</sup>ます。

# 解説

- A. 「あとで」は、V1、N3あらわで表されることよりV2あらわで表されることの方が後ほうであることを示す。(例文①～⑦)
- B. 「あとで」節の主語N1せつ しゅごは、「が」をとる。(例文①②④)
- C. V2の時制じせいに関係なく、V1は「た形」かんけいなく、V1は「た形」。
- D. 「N2は」は文頭ぶんとうに来ることができる。(例文①)

N2	は	N1が	V1た	あとで	V2ます
		N3	の		

## 先生へ

N1は、「の」をとることもある。

例 パーティーの終わったあとで、部屋をかたづけました。

N3にあたる日本語能力試験4級相当の名詞は以下の通り。

朝ごはん、昼ごはん、晩ごはん、スポーツ名、買い物、勉強、旅行、散歩、練習、電話、料理、洗濯、掃除、仕事、授業、パーティー、試験、試合、誕生日

N1とN2が同じ場合は、「N1が」は省略される。また、N1、N2が何であるかわかっている場合は、「N1が」「N2は」を省略することがある。

「Vたあとで」と「Vてから」の違い。

	Vたあとで	Vてから
はっきりした時間の前後関係 手順の表示(どういう順にするか)	×	
時の表示(いつするか)		×

例1 スリッパをぬいしてから和室に入ります。( )

スリッパをぬいだあとで和室に入ります。(×)

2 先生に相談してから、来てください。( )

先生に相談をしたあとで、来てください。( )

### 【関連項目】

- 文-33 Vてから
- 文-35 まえに
- 文-40 とき
- 活-02 Vた形

### 【「れんしゅう編」の練習】

- 11-1 どんな順番？